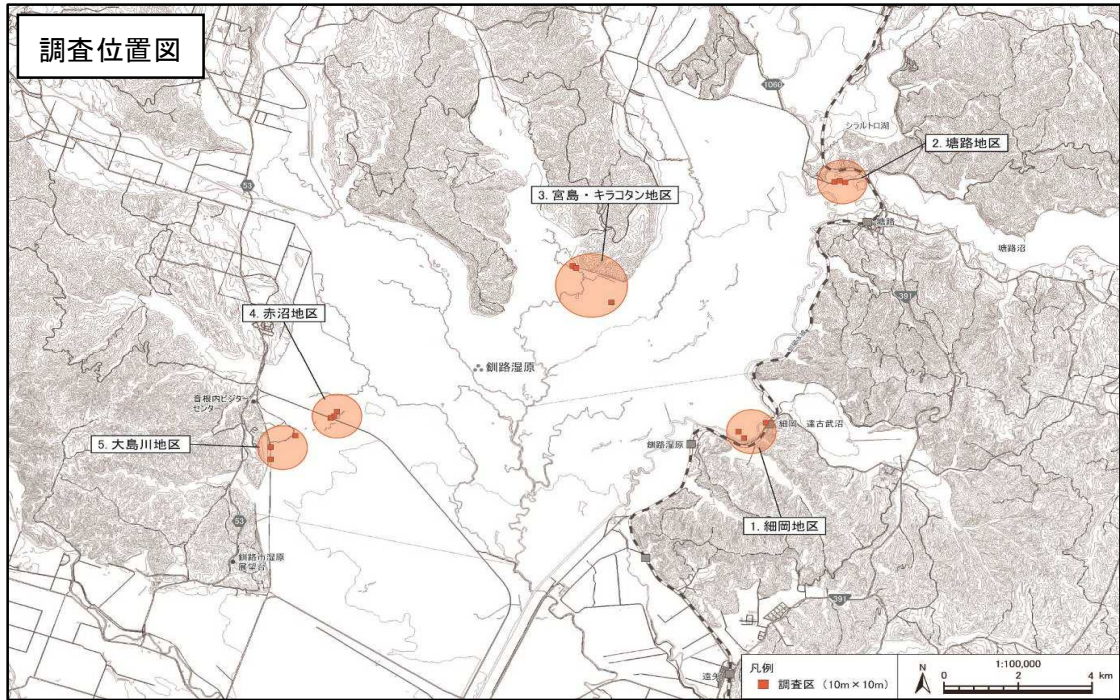


平成 25 年度エゾシカ採食状況調査 実施結果

以下の 5 地点において、夏期、秋期及び冬期のエゾシカによる採食状況調査を実施した。

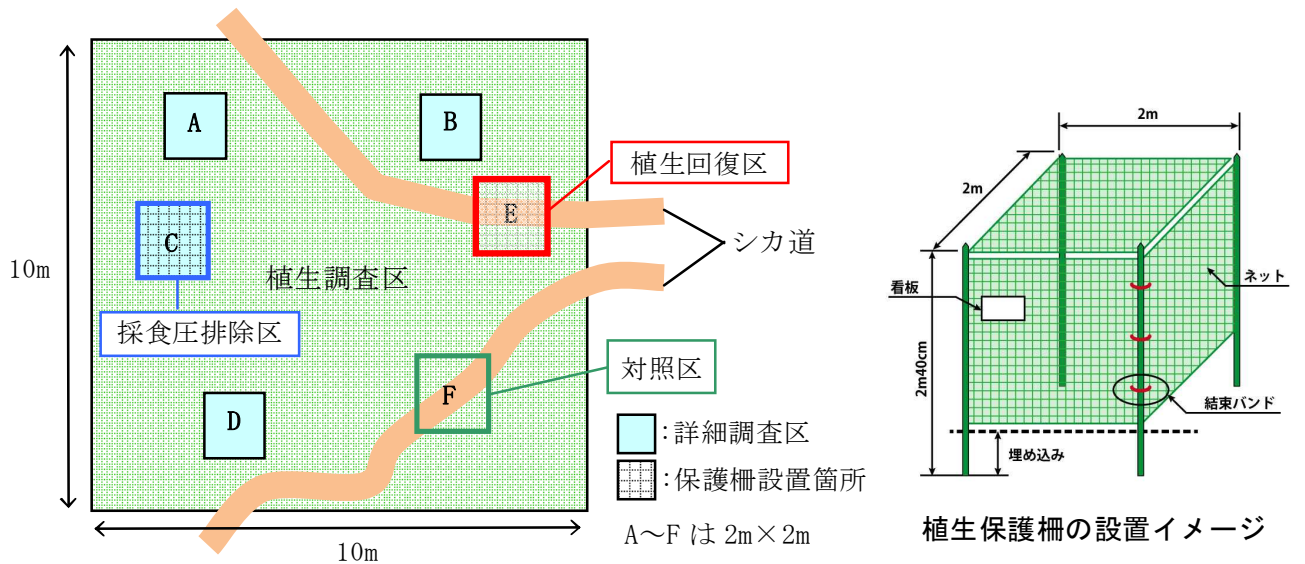


● 調査方法

□ 夏期及び秋期 (夏期 : 8 月 30 日～9 月 2 日、秋期 : 11 月 13 日～15 日)

各地区に 3 カ所の植生調査区を設定し、シカによる採食状況を調査。

各植生調査区に 3 カ所の詳細調査区及び 1 カ所の採食圧排除区 (保護柵)、並びにシカ道等への植生回復を調査する植生回復区 (保護柵) 及び対照区 (保護柵なし) を設置。



□ 冬期 (2 月 11 日～14 日)

平成 23 年度、24 年度と同様の場所でライントランセクト法による調査を実施。

(シカ道を踏査して片側 1m (両側 2m) の範囲の採食状況を記録)

●夏期の食痕出現頻度（食痕確認面積/100m2）

採食種名	細岡			塘路			宮島・キラコタン			赤沼			大島川		
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1	5-2	5-3
	ハン	高層	低層	低層	タモ	ハン	高層	低層	ハン	高層	高層	低層	低層	ハン	高層
ヨシ	0.02	0.01	19.75	0.01	0.01			0.65		0.09		0.04		1.00	
ホザキシモツケ	0.04								8.75						
ミゾソバ			0.09		0.17			0.25	27.00				2.50	4.75	
サワギキョウ				0.02											
シロネ			0.18												
クサレダマ				0.29											
ツルスゲ				0.01											
エゾノレンリソウ						0.12									
イワノガリヤス				0.25											
アキノウナギツカミ								0.01							
アキノキリンソウ										0.01	0.02				
チシマガリヤス										0.03					
ヒメジャクナゲ										0.01					
ホロムイソグ												0.09			
ドクゼリ													0.25		
種不明木本												0.18			
種不明草本		0.01													0.01
計	0.06	0.02	20.02	0.58	0.18	0.12	0.00	0.91	35.75	0.14	0.02	0.31	2.75	5.75	0.01

：重要種

●秋期の食痕出現頻度（食痕確認面積/100m2）

採食種名	細岡			塘路			宮島・キラコタン			赤沼			大島川		
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1	5-2	5-3
	ハン	高層	低層	低層	タモ	ハン	高層	低層	ハン	高層	高層	低層	低層	ハン	高層
ホザキシモツケ					0.50									1.25	
ヤチヤナギ		0.29													
カラフトイソツツジ											0.37				
ヤチツツジ												0.25			
種不明木本															
種不明草本			1.25												
計	0.00	0.29	1.25	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37	0.25	0.00	1.25	0.00

：重要種

※高層=高層湿原、低層=低層湿原、ハン=ハンノキ群落、タモ=ヤチダモ群落

注 1) 重要種選定基準は以下に示すとおりである。

- 第 4 次レッドリスト（平成 24 年 8 月 環境省）
EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧
- 釧路湿原国立公園指定植物種

注 2) 指定植物にはイソツツジが選定されているが、ここではカラフトイソツツジも含めて扱った。

注 3) 本調査では、ミズゴケ類は重要種としては記録していない。

●冬期の採食頻度（採食箇所数/100m）

No.	科名	種名	細岡地区		塘路地区		宮島・キラコタン地区		赤沼地区			大島川地区			計
			高層湿原	丘陵地	低層湿原	丘陵地	高層湿原	丘陵地	高層湿原	低層湿原	ハンノキ林	高層湿原	丘陵地	ハンノキ林	
	-	シダ sp.											0.3	0.0	0.4
1	ヤマモモ	ヤチヤナギ	3.4						0.3						3.7
	ヤナギ	ヤナギ sp.				1.2									1.2
2	カバノキ	ハンノキ		0.3	2.8	0.3		0.6							4.0
3	ツツジ	ヤチツツジ					0.6								0.6
4		カラフトイソツツジ					3.1								3.1
5	モクセイ	ハシドイ		1.5											1.5
6	スイカズラ	クロミノウグイスカグラ									1.2				1.2
7	イネ	ヨシ			1.8				0.6	0.6				0.6	3.6
		イネ科												0.3	0.3
8		オオクマザサ		0.9		1.2		2.5					1.5		6.1
	-	スゲ sp.									1.8				1.8
	-	種不明樹木		0.3					0.3	0.3			0.3		1.2
	-	種不明草本											0.6		0.6
計	6科	8種以上	3.4	3.0	4.6	2.7	3.7	3.1	0.3	1.2	1.8	1.8	2.7	0.9	

：重要種

●冬期の採食頻度と積雪深の経年比較

調査地区	植生	採食頻度 (採食箇所数/100m)			積雪深(cm)		
		H23	H24	H25	H23	H24	H25
細岡地区	高層湿原	0.9	1.4	3.4	50.0	20.0	16.4
	丘陵地	18.8	2.3	3.0	20.0	26.0	26.0
塘路地区	低層湿原	2.0	1.6	4.6	30.0	37.5	12.0
	丘陵地	9.3	4.4	2.7	5.0	15.5	15.0
宮島・キラコタン地区	高層湿原	0	0.3	3.7	55.0	45.0	9.6
	丘陵地	2.5	2.3	3.1	12.5	20.0	9.3
赤沼地区	高層湿原	0	0	0.3	37.5	47.5	10.0
	低層湿原	0	0	1.2	40.0	50.0	22.5
	ハンノキ林	0	2.9	1.8	15.0	27.5	18.3
大島川地区	高層湿原	0	0	1.8	60.0	40.0	11.7
	ハンノキ林	0	1.6	2.7	25.0	37.5	21.3
	丘陵地	0	2.7	0.9	75.0	45.0	17.8
高層湿原平均		0.2	0.9	2.3	50.6	38.1	11.9
低層湿原平均		1.0	0.8	2.9	35	43.8	17.3
ハンノキ林平均		0	2.3	2.3	20	32.5	19.8
丘陵地平均		7.7	2.9	2.4	28.1	26.6	17.0
平均		2.8	1.6	2.4	35.4	34.3	15.8

●夏期及び秋期の採食状況

- ・高層湿原では、夏期はほとんど採食が見られないのに対して、秋期は多かった。
- ・ハンノキ林や低層湿原では夏期に採食が多かったが、比較して秋期は減少。
- ・秋期には重要種の採食が目立った。

●冬期の採食状況

- ・過年度調査ではほとんど採食が見られなかった高層湿原、低層湿原で採食が多かった。
- ・丘陵地では過年度と比較して採食が少ない傾向。
- ・重要種の採食は高層湿原で顕著。ヤチヤナギやヤチツツジ、カラフトイソツツジの採食はH25年度調査で初めて確認。
- ・積雪深については、全体平均では過年度と比べて半減しているが、特に高層湿原、低層湿原で顕著な減少が見られた。湿原内での採食増加は積雪深の減少と関係する可能性が高い。

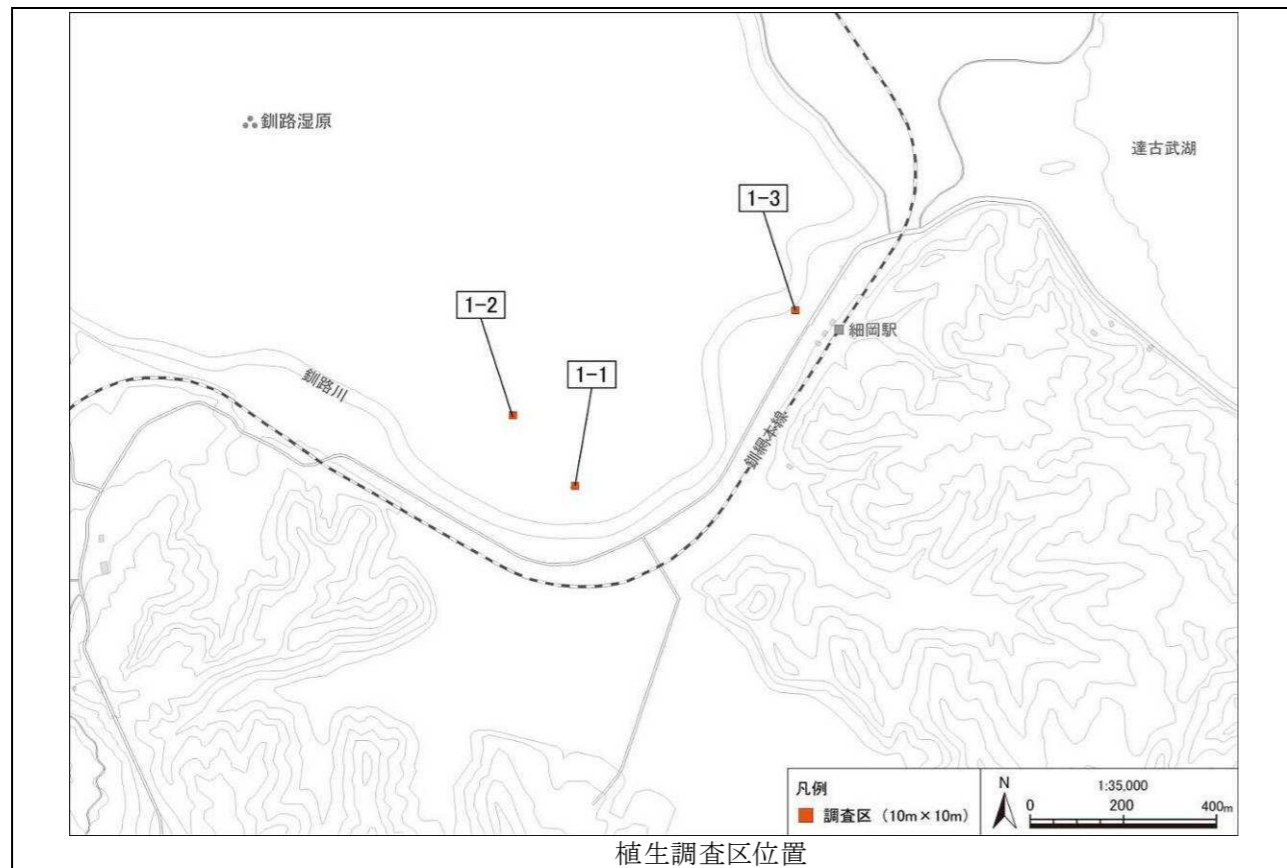
各地区における調査結果整理

1-1 細岡地区

1-1-1 調査区の設定

細岡地区では、釧路川周辺のハンノキ低木-ヤチヤナギ-ムジナスゲ群落、ミカツキグサ群落、ヨシ群落の3箇所に植生調査区を設定した。

表 0-1 植生調査区及び詳細調査区位置（細岡地区）



	1-1 (ハンノキ低木-ヤチヤナギ-ムジナスゲ群落)	1-2 (ミカツキグサ群落)	1-3 (ヨシ群落)
景観			
詳細調査区位置	<p>ホザキシモツケ エゾナミキソウ ムジナスゲ ヤチヤナギ オトギリソウ</p>	<p>ヤマドリゼンマイ ツルコケモモ ヤチヤナギ ミカツキグサ ヤチツツジ オトギリソウ</p>	<p>エゾオオヤマハコベ ヨシ</p>

1-1-2 植生調査

植生調査の結果、細岡地区では7科9種の重要種が確認された。重要種の確認位置については、図 0-2 から図 0-4に示した。

表 0-2 細岡地区において確認された重要種及び確認箇所数

No.	科名	種名	細岡地区			計	重要種選定基準		
			1-1	1-2	1-3		環境省 RL	北海道 RDB	釧路湿原 指定植物
1	ヤマモモ	ヤチヤナギ	10	11		21			○
2	ナデシコ	エゾオオヤマハコベ			5	5			○
3	オトギリソウ	オトギリソウ	3	7		10			○
4	バラ	ホザキシモツケ	1			1			○
5	ツツジ	ヤチツツジ		4		4	EN		
6		ツルコケモモ		3		3			○
7	シソ	エゾナミキソウ	1			1	VU		
8	カヤツリグサ	ムジナスゲ	7			7			○
9		ホロムイソゲ		5		5			○
計	7科	9種	22	30	5	57	2種	0種	7種

1-1-3 エゾシカ利用状況調査

エゾシカに採食された植物は5種以上であり、そのうち重要種はホザキシモツケ及びヤチヤナギの2種であった。

食痕出現頻度は、下記の1-3（ハンノキ低木-ヤチヤナギ-ムジナスゲ群落）において特に高く、主にヨシが採食されていた。秋期には全体的に減少しているが、1-2（ミカツキグサ群落）では増加しており、ヤチヤナギの採食が確認された。

表 0-3 食痕出現頻度（食痕確認面積/100m²）

採食種名	夏期			秋期		
	1-1	1-2	1-3	1-1	1-2	1-3
ヨシ	0.02	0.01	19.75			
ホザキシモツケ	0.04					
ミゾソバ			0.09			
シロネ			0.18			
ヤチヤナギ					0.29	
種不明草本		0.01				1.25
食痕確認面積	0.06	0.02	20.02	0	0.29	1.25

重要種

1-1-4 植生保護柵の設置

植生保護柵の設置位置については、図 0-2から図 0-4に示した。

1-1-5 冬期採食状況調査

細岡地区では、釧路川右岸の高層湿原及び細岡駅の南側にある丘陵地において踏査ルートを設定し、調査を行った。

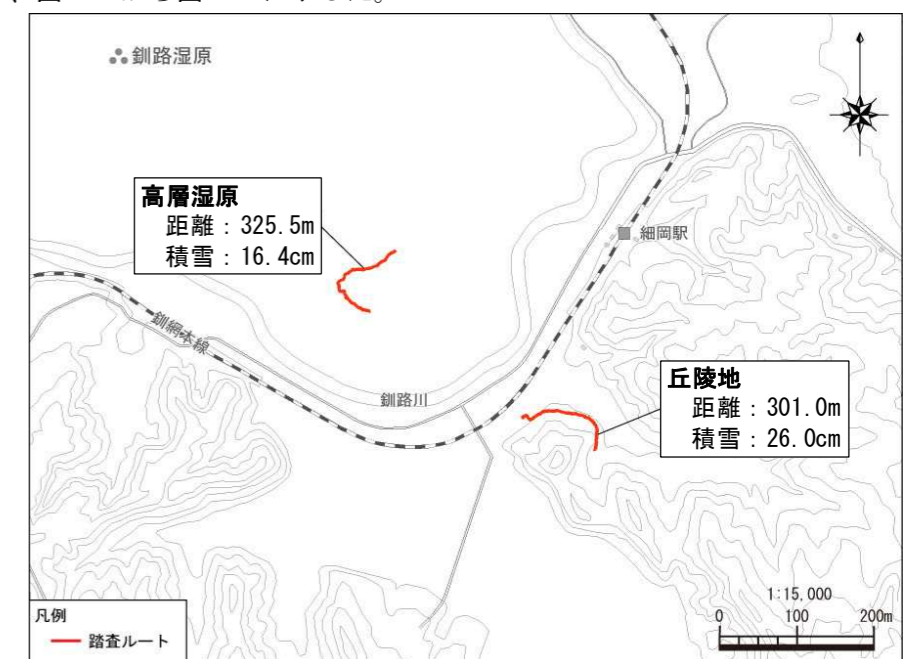


図 0-1 冬期採食状況調査の踏査ルート

1) 採食植物

エゾシカに採食された植物は4種以上で、高層湿原では重要種であるヤチヤナギの食痕が確認された。高層湿原ではヤチヤナギ1種のみを採食し、丘陵地では3種以上を広く採食していた。

2) シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

シカ道分岐頻度及び採食頻度は、植生間で同程度だった。踏み荒しは、丘陵地のみで確認された。個体は、本調査地区では目撃されなかった。

表 0-4 採食植物及び採食頻度

採食種名	植生	
	高層湿原	丘陵地
ヤチヤナギ	3.4	
ハンノキ		0.3
ハシドイ		1.5
オオクマザサ		0.9
種不明木本		0.3
計	3.4	3.1

表 0-5 シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

植生	シカ道分岐頻度 (分岐回数/100m)	踏み荒し割合 (踏み荒し面積/調査面積:%)	採食頻度 (採食箇所数/100m)	目撃数
高層湿原	3.7	0.0	3.4	0
丘陵地	3.0	1.2	3.0	0

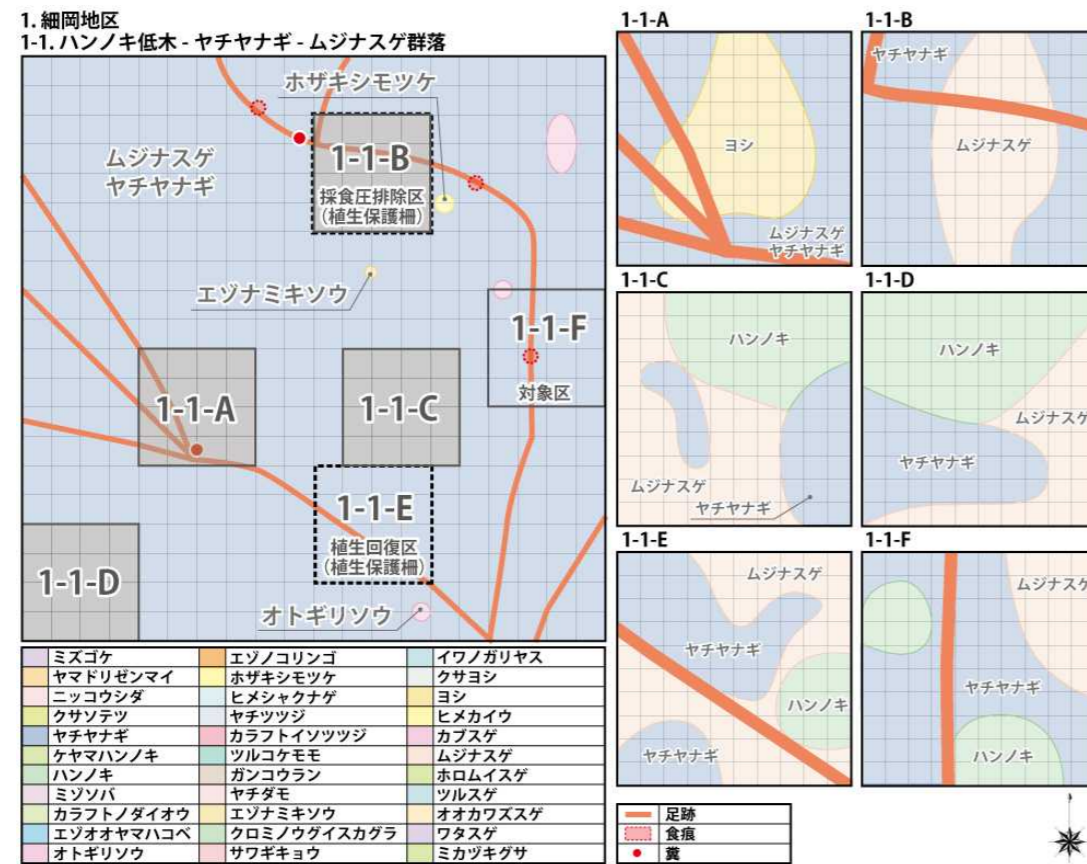


図 0-2 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (1-1)

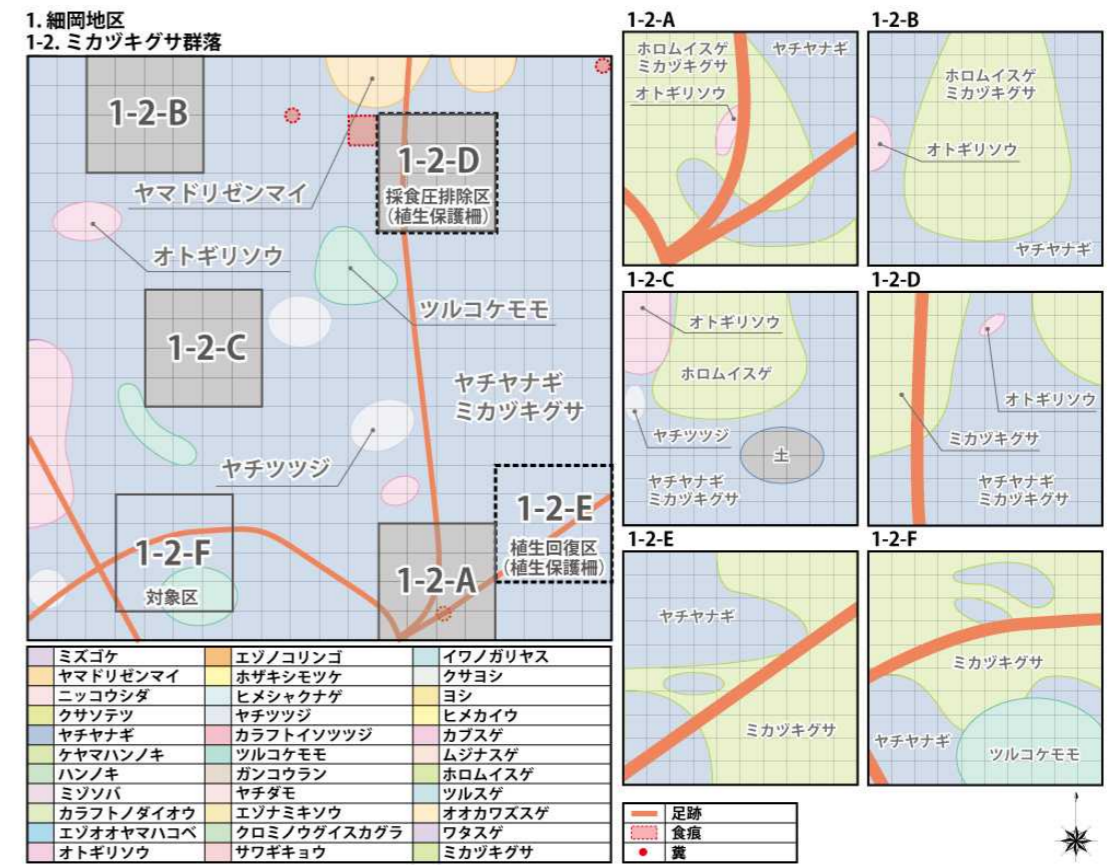


図 0-3 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (1-2)

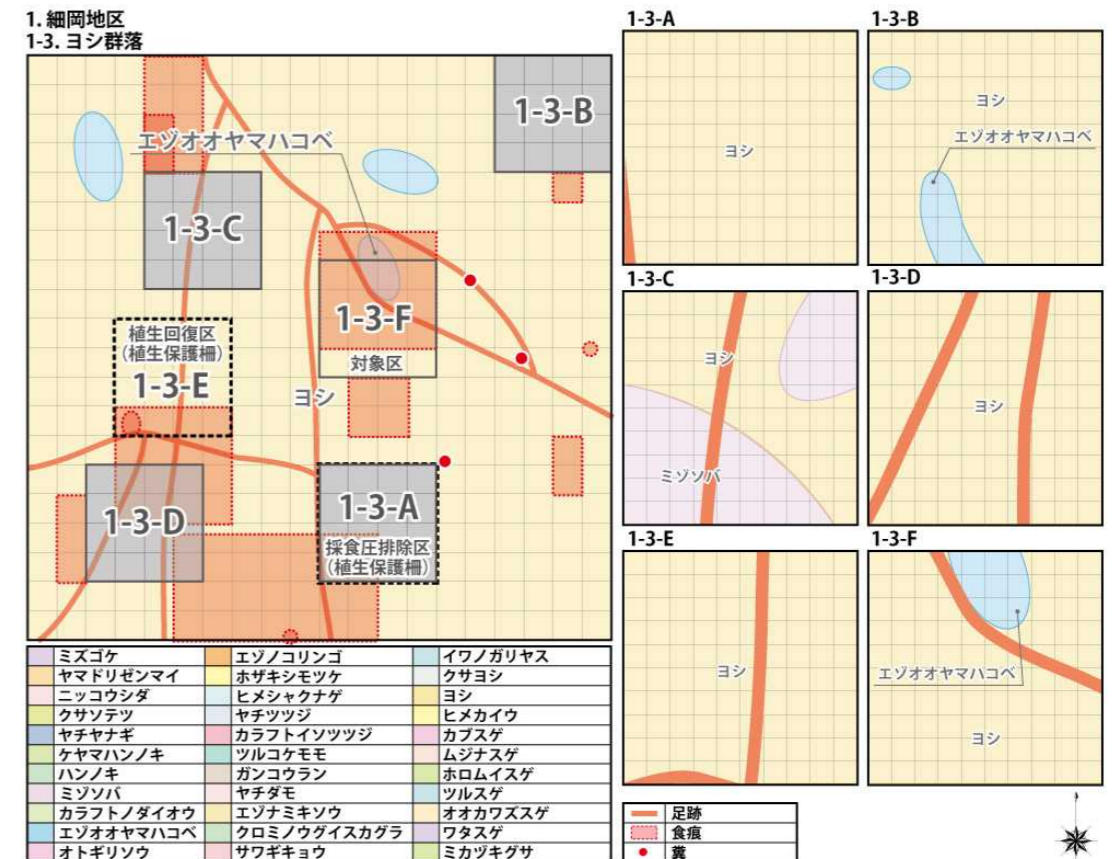


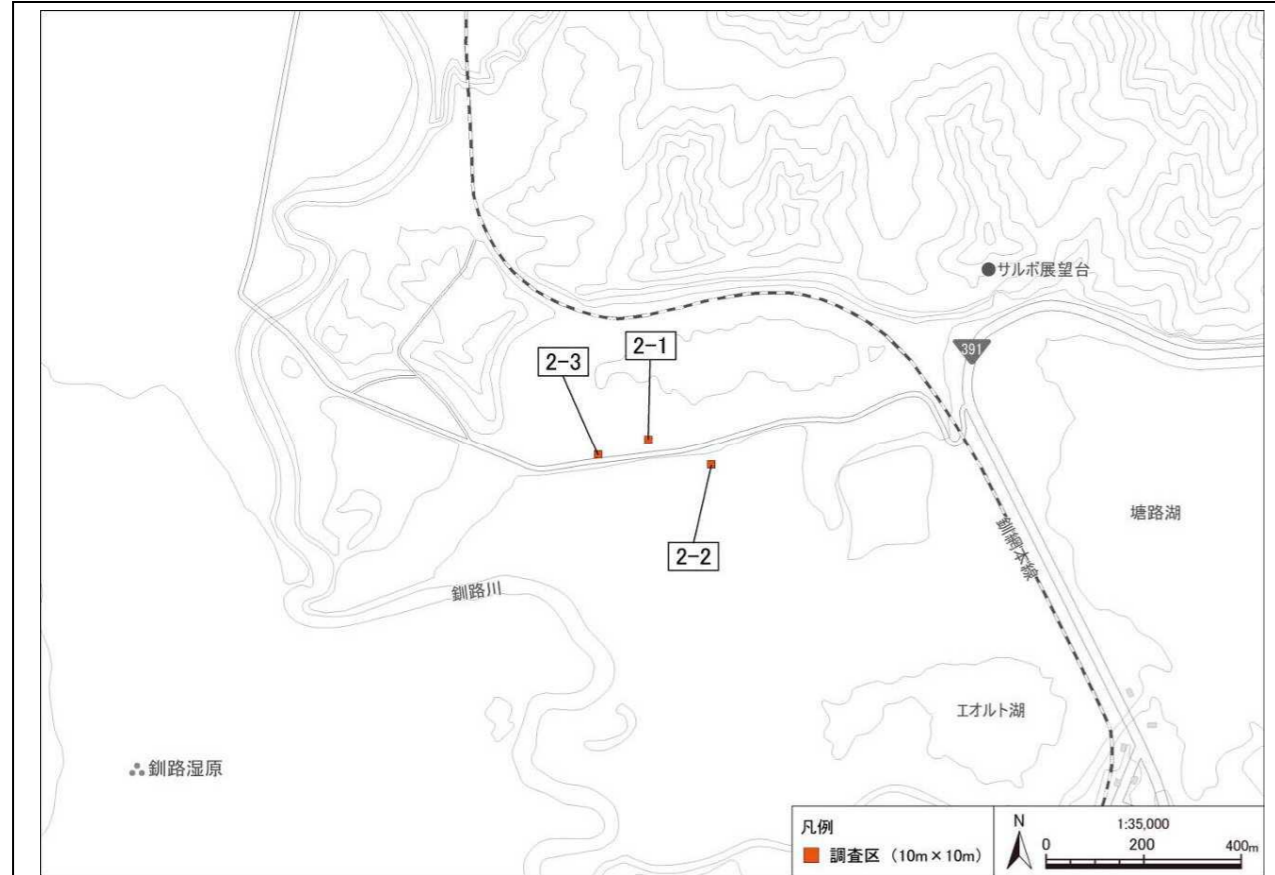
図 0-4 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (1-3)

1-2 塘路地区

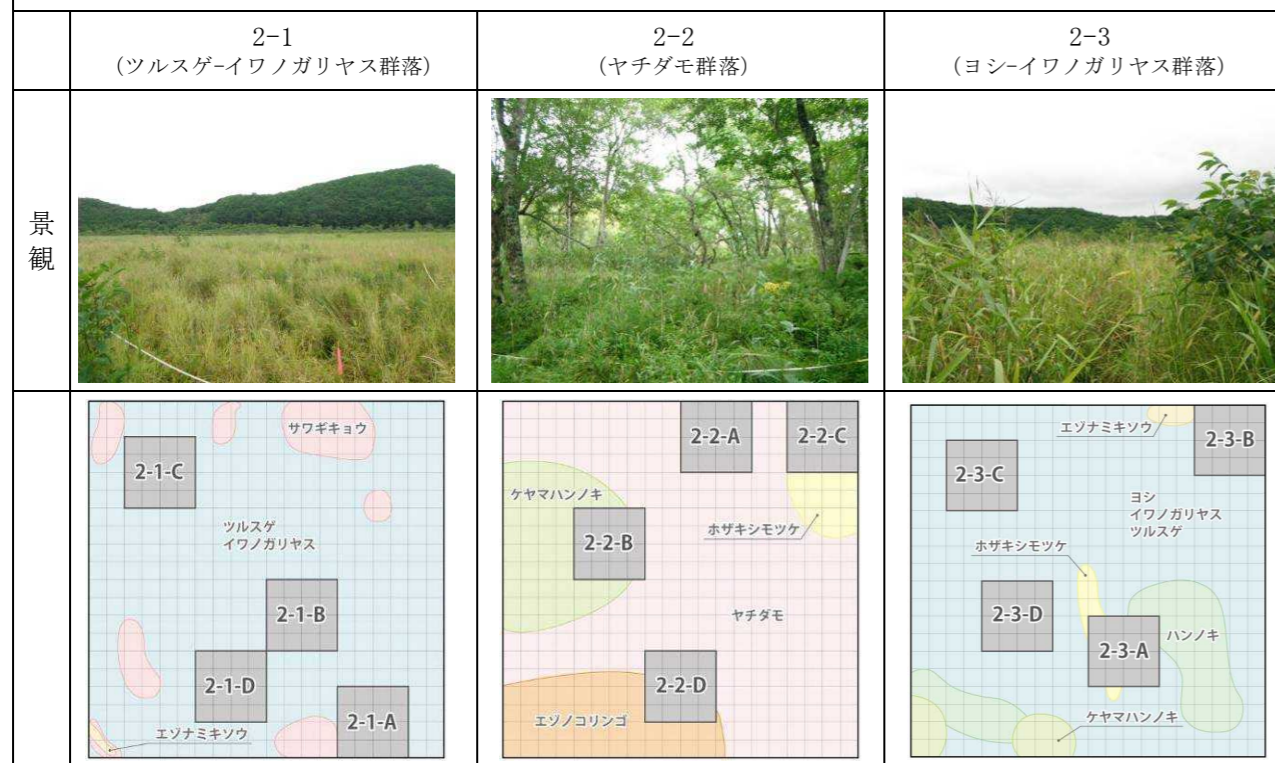
1-2-1 調査区の設定

塘路地区では、塘路湖西側に位置するツルスゲ-イワノガリヤス群落、ヤチダモ群落、ヨシ-イワノガリヤス群落の3箇所に植生調査区を設定した。

表 0-6 植生調査区及び詳細調査区位置 (塘路地区)



植生調査区位置



1-2-2 植生調査

植生調査の結果、塘路地区では3科3種の重要種が確認された。重要種の確認位置については、図 0-6 から図 0-8に示した。

表 0-7 塘路地区において確認された重要種及び確認箇所数

No.	科名	種名	塘路地区			計	重要種選定基準		
			2-1	2-2	2-3		環境省 RL	北海道 RDB	釧路湿原 指定植物
1	バラ	ホザキシモツケ		2	2	4			○
2	シソ	エゾナミキソウ	1		2	3	VU		
3	キキョウ	サワギョウ	12			12			○
計	3科	3種	13	2	4	19	1種	0種	2種

1-2-3 エゾシカ利用状況調査

エゾシカに採食された植物は7種であり、そのうち重要種はホザキシモツケ及びサワギキョウの2種であった。

食痕出現頻度は、夏期の2-1(ツルスゲ-イワノガリヤス群落)で比較的高かった。2-1では、複数種を広く採食していた。秋には全体的に減少したが、2-2(ヤチダモ群落)ではホザキシモツケの採食により増加がみられた。

表 0-8 食痕出現頻度 (食痕確認面積/100m²)

採食種名	夏期			秋期		
	2-1	2-2	2-3	2-1	2-2	2-3
ヨシ	0.01	0.01				
ホザキシモツケ					0.50	
ミソソバ		0.17				
サワギキョウ	0.02					
クサレダマ	0.29					
ツルスゲ	0.01					
エゾノレンリソウ	0.25					
食痕確認面積	0.58	0.18	0.12	0	0.50	0

重要種

1-2-4 植生保護柵の設置

植生保護柵の設置位置については、図 0-6から図 0-8に示した。

1-2-5 冬期採食状況調査

塘路地区では、釧路川左岸の低層湿原及び塘路湖北側にある丘陵地において踏査ルートを設定し、調査を行った。

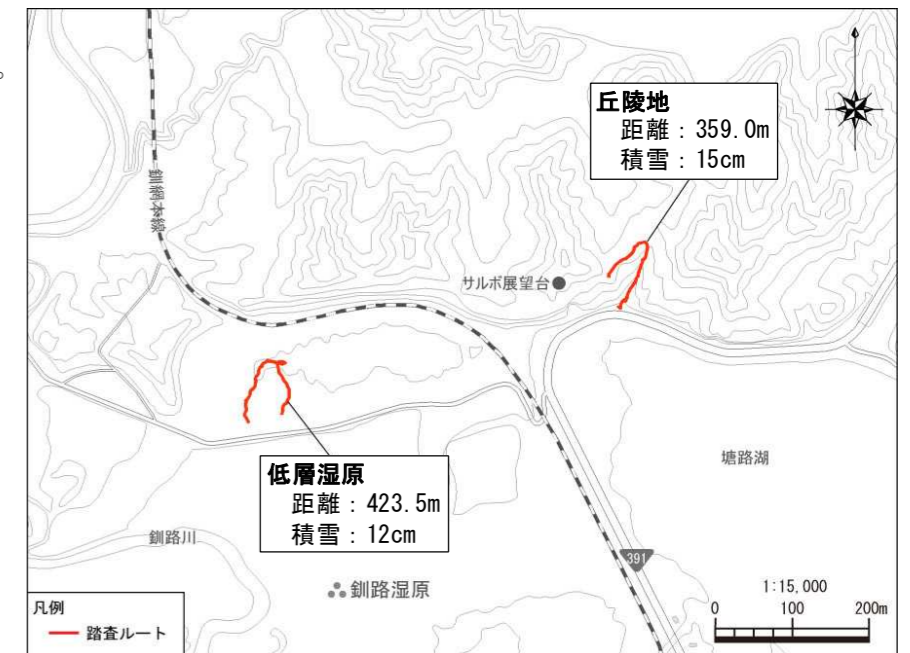


図 0-5 冬期採食状況調査の踏査ルート

1) 採食植物

エゾシカに採食された植物は4種以上だった。低層湿原ではハンノキ及びヨシの2種を採食し、丘陵地ではヤナギ類、ハンノキ、オオクマザサの3種を採食していた。

2) シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

シカ道分岐頻度は丘陵地で、採食頻度は低層湿原で高い傾向を示した。踏み荒しは、丘陵地のみで確認された。個体は、本調査地区では目撃されなかった。

表 0-9 採食植物及び採食頻度

採食種名	植生	
	低層湿原	丘陵地
ヤナギ sp.		1.2
ハンノキ	2.8	0.3
ヨシ	1.8	
オオクマザサ		1.2
計	4.6	2.8

表 0-10 シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

植生	シカ道分岐頻度 (分岐回数/100m)	踏み荒し割合 (踏み荒し面積/調査面積:%)	採食頻度 (採食箇所数/100m)	目撃数
低層湿原	2.1	0	4.6	0
丘陵地	3.3	2.3	2.7	0

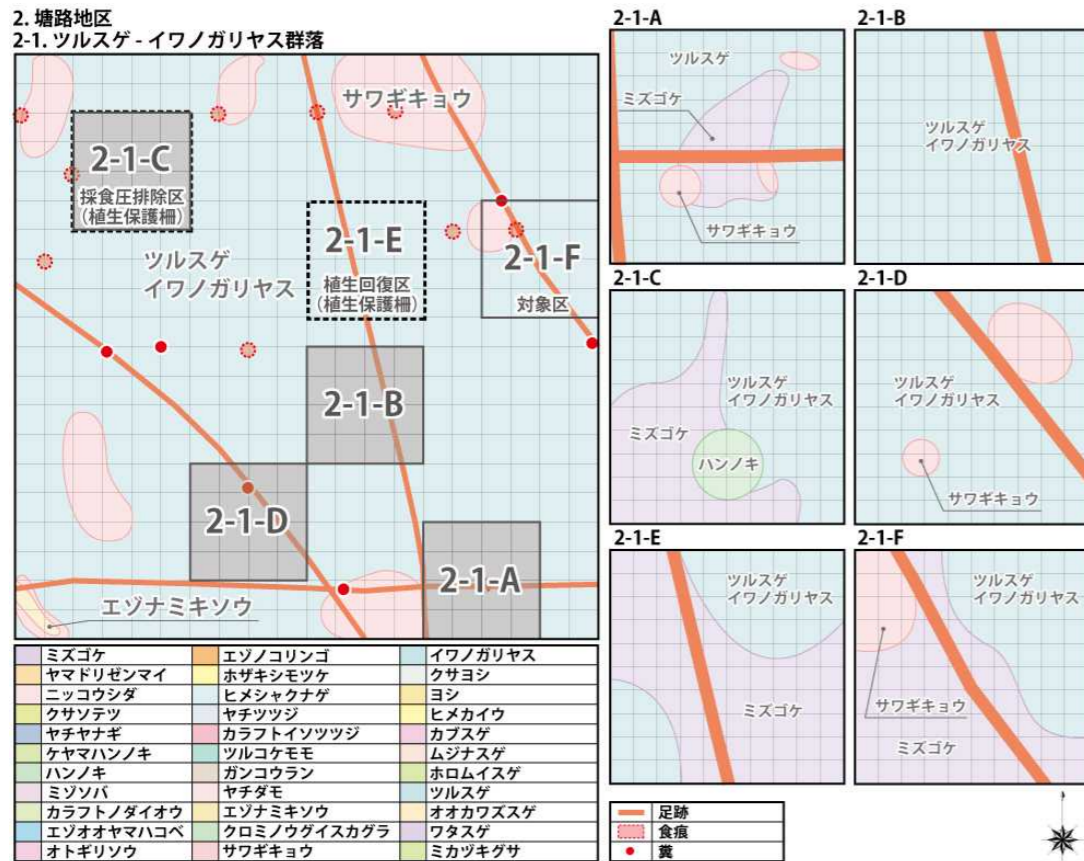


図 0-6 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (2-1)

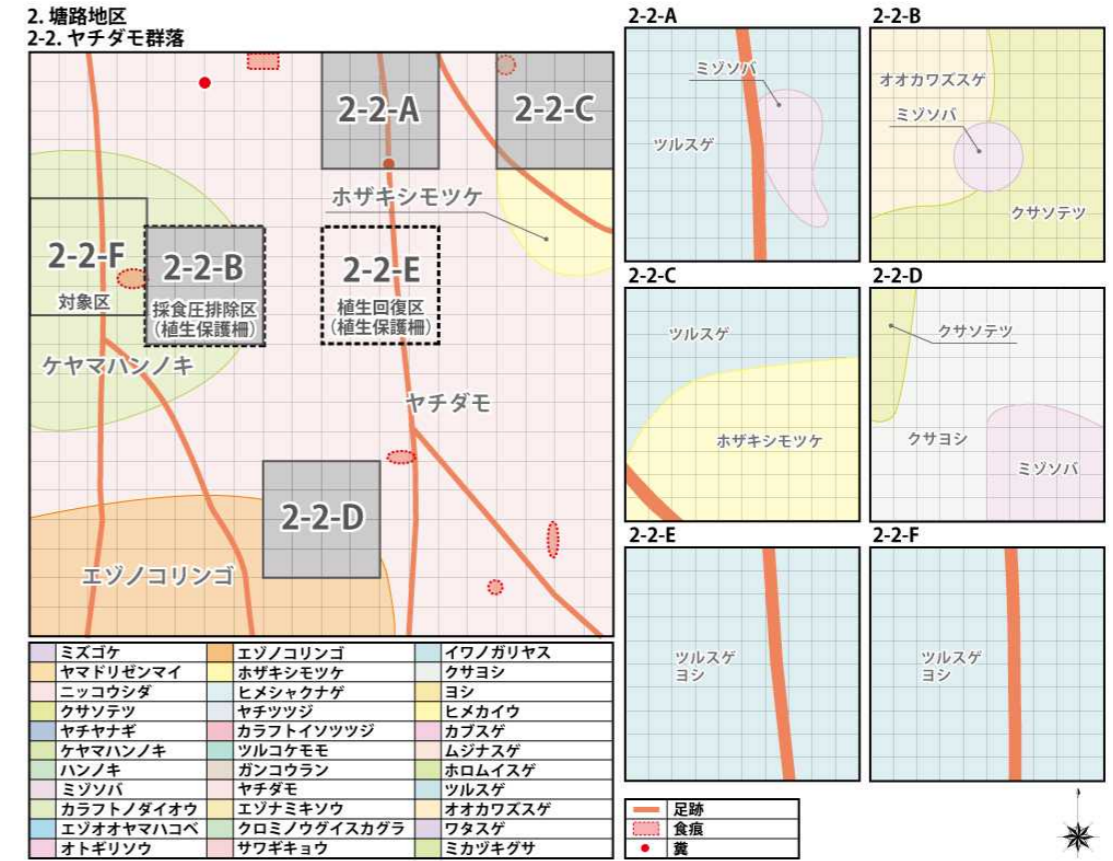


図 0-7 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (2-2)

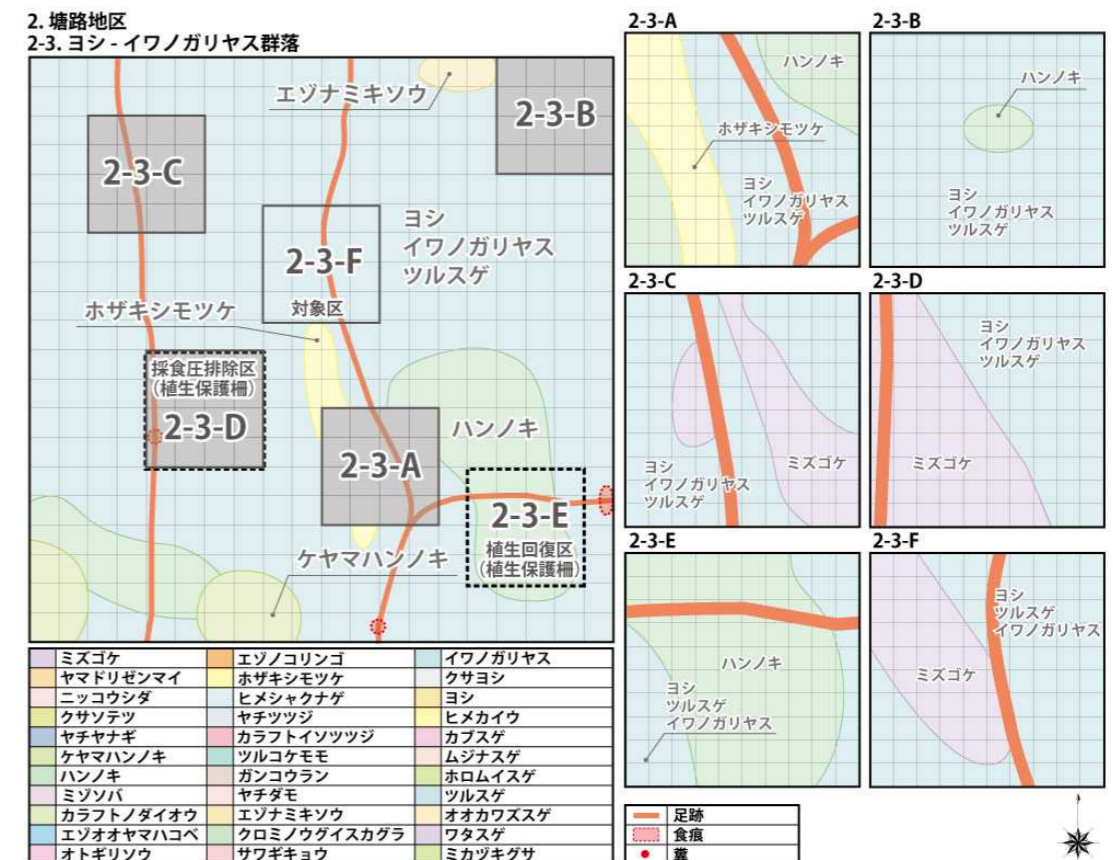


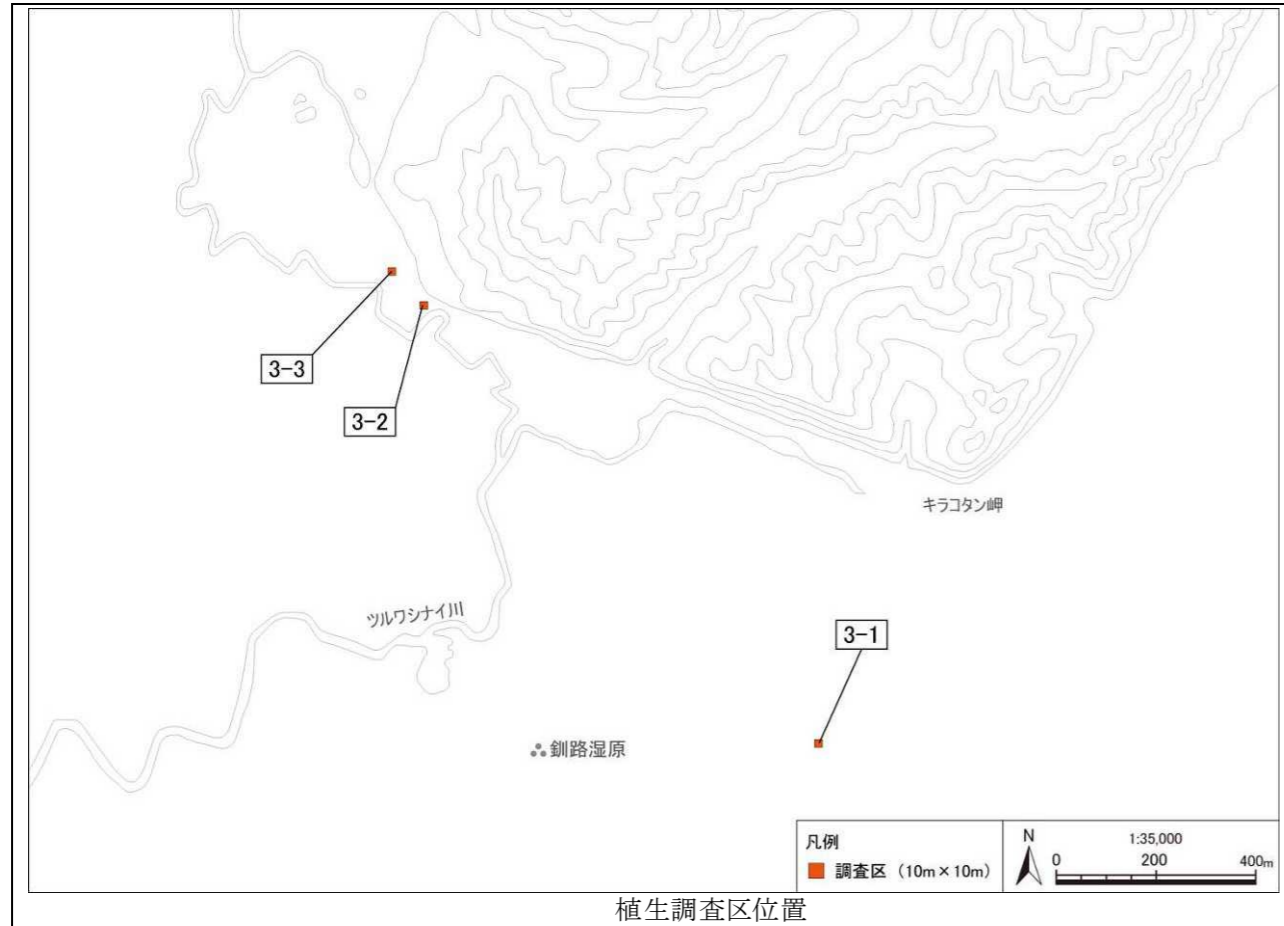
図 0-8 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (2-3)

1-3 宮島・キラコタン地区

1-3-1 調査区の設定

宮島・キラコタン地区では、キラコタン岬周辺のヤチヤナギ-ヤチツツジ群落、ツルスゲ-ヨシ-イワノガリヤス群落、ハンノキ群落の3箇所に植生調査区を設定した。

表 0-11 植生調査区及び詳細調査区位置（宮島・キラコタン地区）



植生調査区位置

	3-1 (ヤチヤナギ-ヤチツツジ群落)	3-2 (ツルスゲ-ヨシ-イワノガリヤス群落)	1-3 (ハンノキ群落)
景観			
詳細調査区位置			

1-3-2 植生調査

植生調査の結果、宮島・キラコタン地区では7科9種の重要種が確認された。重要種の確認位置については、図 0-10から図 0-12に示した。

表 0-12 宮島・キラコタン地区において確認された重要種及び確認箇所数

No.	科名	種名	宮島・キラコタン地区			計	重要種選定基準		
			3-1	3-2	3-3		環境省 RL	北海道 RDB	釧路湿原 指定植物
1	ヤマモモ	ヤチヤナギ	5			5			○
2	ナデシコ	エゾオオヤマハコベ		4		4			○
3	オトギリソウ	オトギリソウ	1			1			○
4	バラ	ホザキシモツケ			11	11			○
5	ツツジ	ヤチツツジ	7			7	EN		
6		カラフトイソツツジ	7			7			○
7	サトイモ	ヒメカイウ	5			5	NT		○
8	カヤツリグサ	ホロムイスゲ	5			5			○
9		ワタスゲ	2			2			○
計	7科	9種	32	4		47	2種	0種	8種

1-3-3 エゾシカ利用状況調査

エゾシカに採食された植物は4種であり、そのうち重要種はホザキシモツケの1種であった。

食痕出現頻度は、夏期の3-3（ハンノキ群落）において特に高く、ミゾソバを多く採食するとともに、ホザキシモツケが採食されていた。秋には、新たな採食は確認されなかった。

表 0-13 食痕出現頻度（食痕確認面積/100m2）

採食種名	夏期			秋期		
	3-1	3-2	3-3	3-1	3-2	3-3
ヨシ		0.65				
ホザキシモツケ			8.75			
ミゾソバ		0.25	27.00			
アキノウナギツカミ		0.01				
食痕確認面積	0	0.91	35.75	0	0	0

重要種

1-3-4 植生保護柵の設置

本調査区においては、景観を損ねる可能性があったため、協議の上で柵の設置を行わなかった。

1-3-5 冬期採食状況調査

宮島・キラコタン地区では、ツルワシナイ川左岸の高層湿原及びキラコタン岬南端の丘陵地において踏査ルートを設定し、調査を行った。

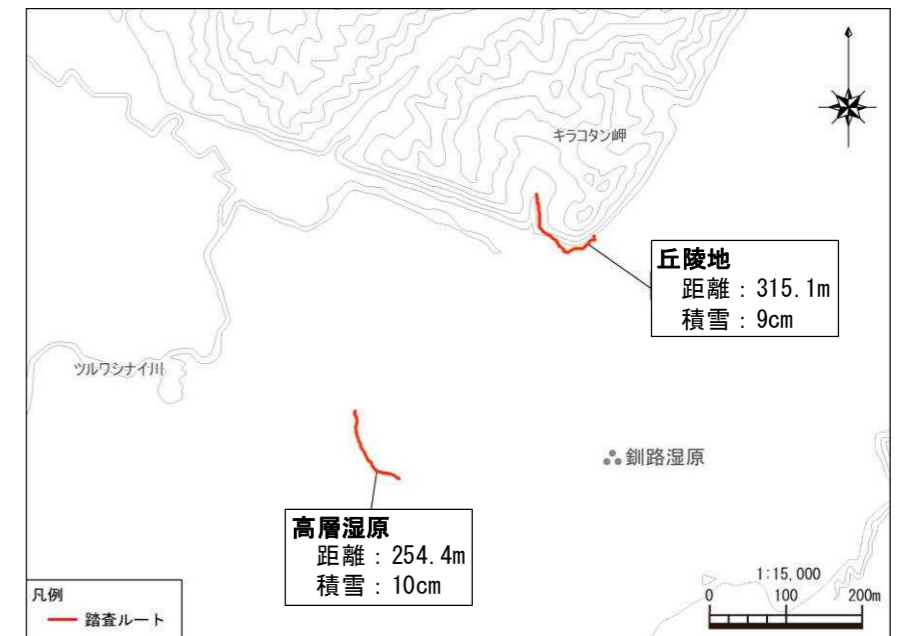


図 0-9 冬期採食状況調査の踏査ルート

1) 採食植物

エゾシカに採食された植物は4種で、高層湿原では重要種であるヤチツツジ及びカラフトイソツツジの食痕が確認された。

高層湿原では主にカラフトイソツツジを採食し、丘陵地では主にオオクマザサを採食していた。

表 0-14 採食植物及び採食頻度

採食種名	植生	
	高層湿原	丘陵地
ハンノキ		0.6
ヤチツツジ	0.6	
カラフトイソツツジ	3.1	
オオクマザサ		2.5
計	3.7	3.1

■ :重要種

2) シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

シカ道分岐頻度及び採食頻度は植生間で同程度だった。踏み荒し及び個体は、高層湿原のみで確認された。

表 0-15 シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

植生	シカ道分岐頻度 (分岐回数/100m)	踏み荒し割合 (踏み荒し面積/調査面積:%)	採食頻度 (採食箇所数/100m)	目撃数
高層湿原	2.4	3.9	3.7	25
丘陵地	2.2	0.0	3.1	0

3. 宮島・キラコタン地区
3-1. ヤチヤナギ-ヤチツツジ群落

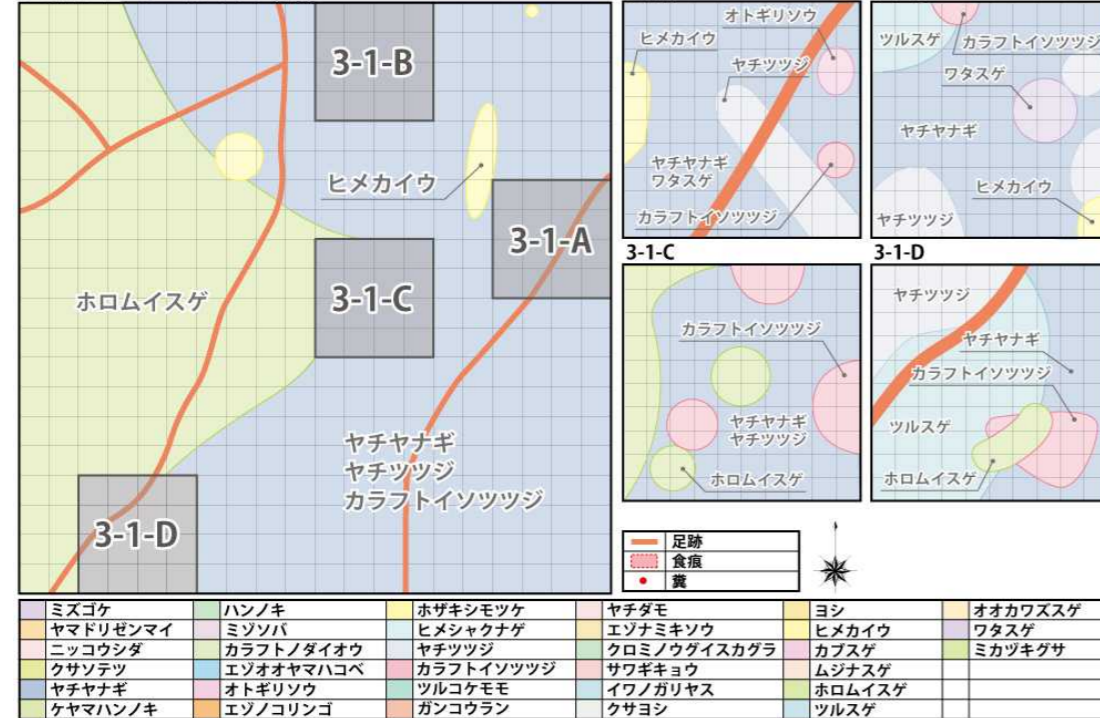


図 0-10 シカ痕跡の分布及び植生図 (3-1)

3. 宮島・キラコタン地区
3-2. ツルスゲ-ヨシ-イワノガリヤス群落

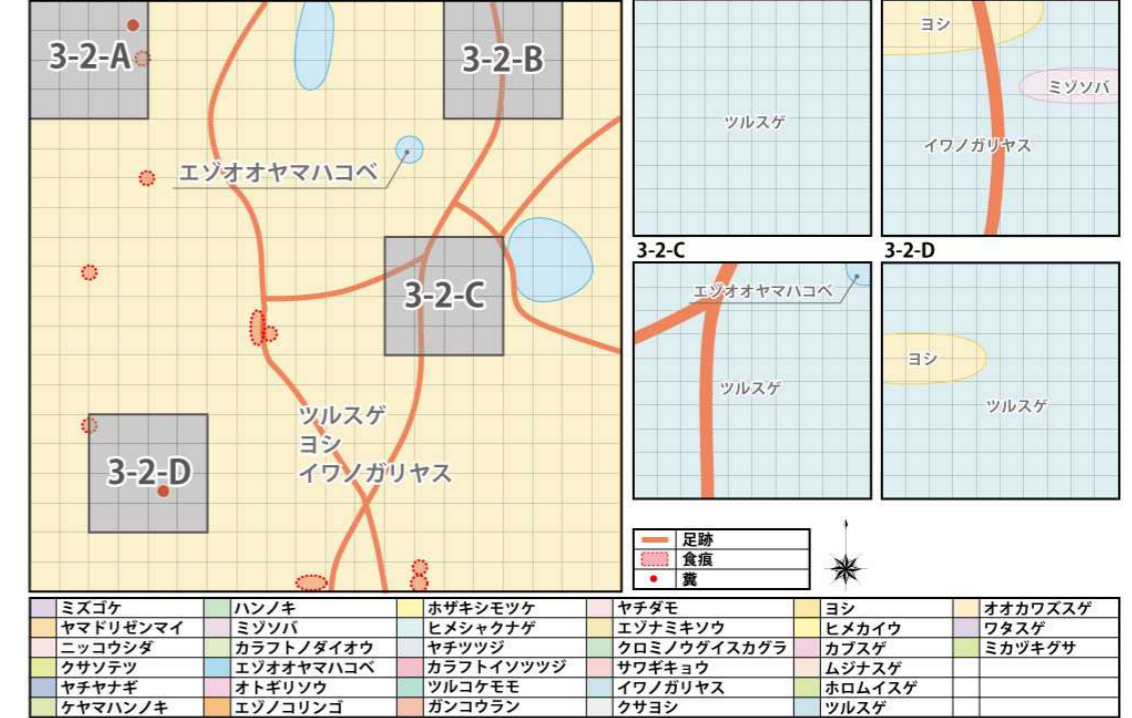


図 0-11 シカ痕跡の分布及び植生図 (3-2)

3. 宮島・キラコタン地区
3-3. ハンノキ群落

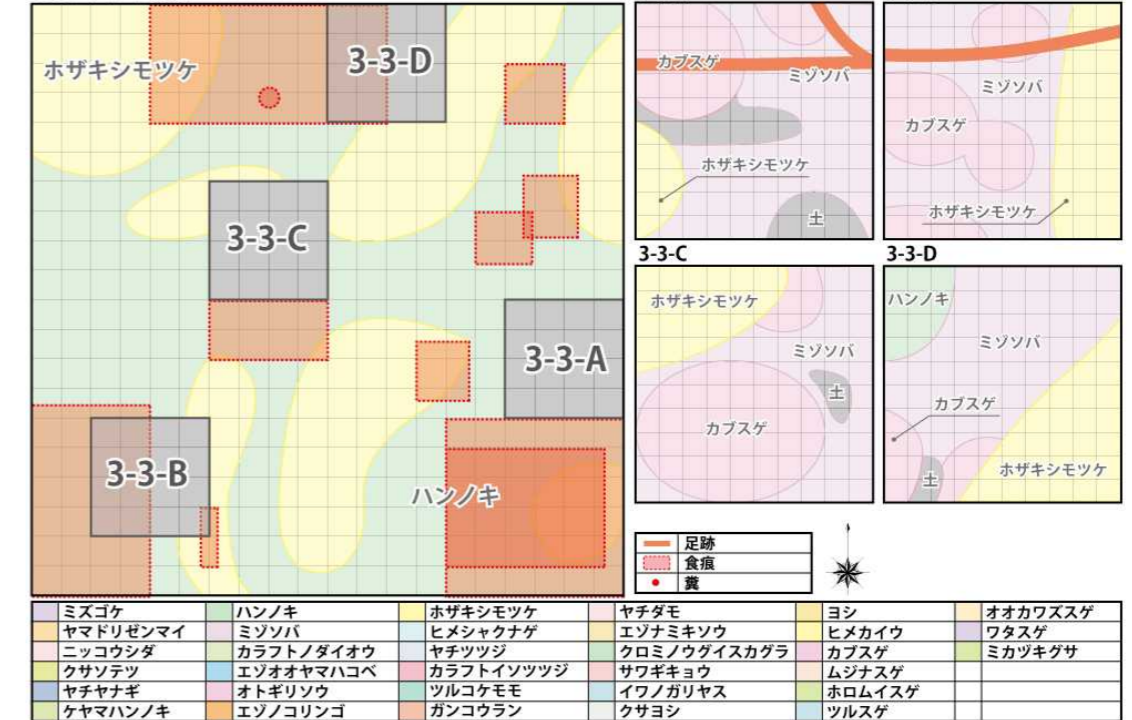


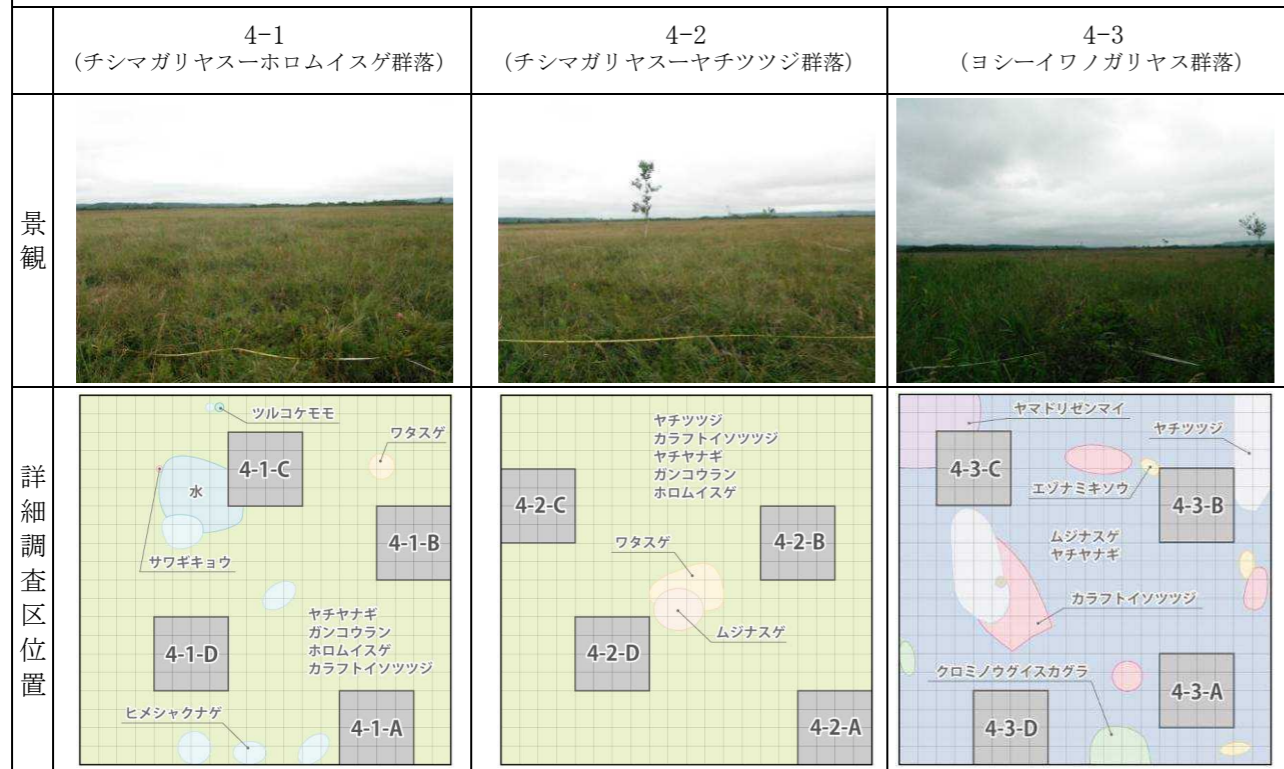
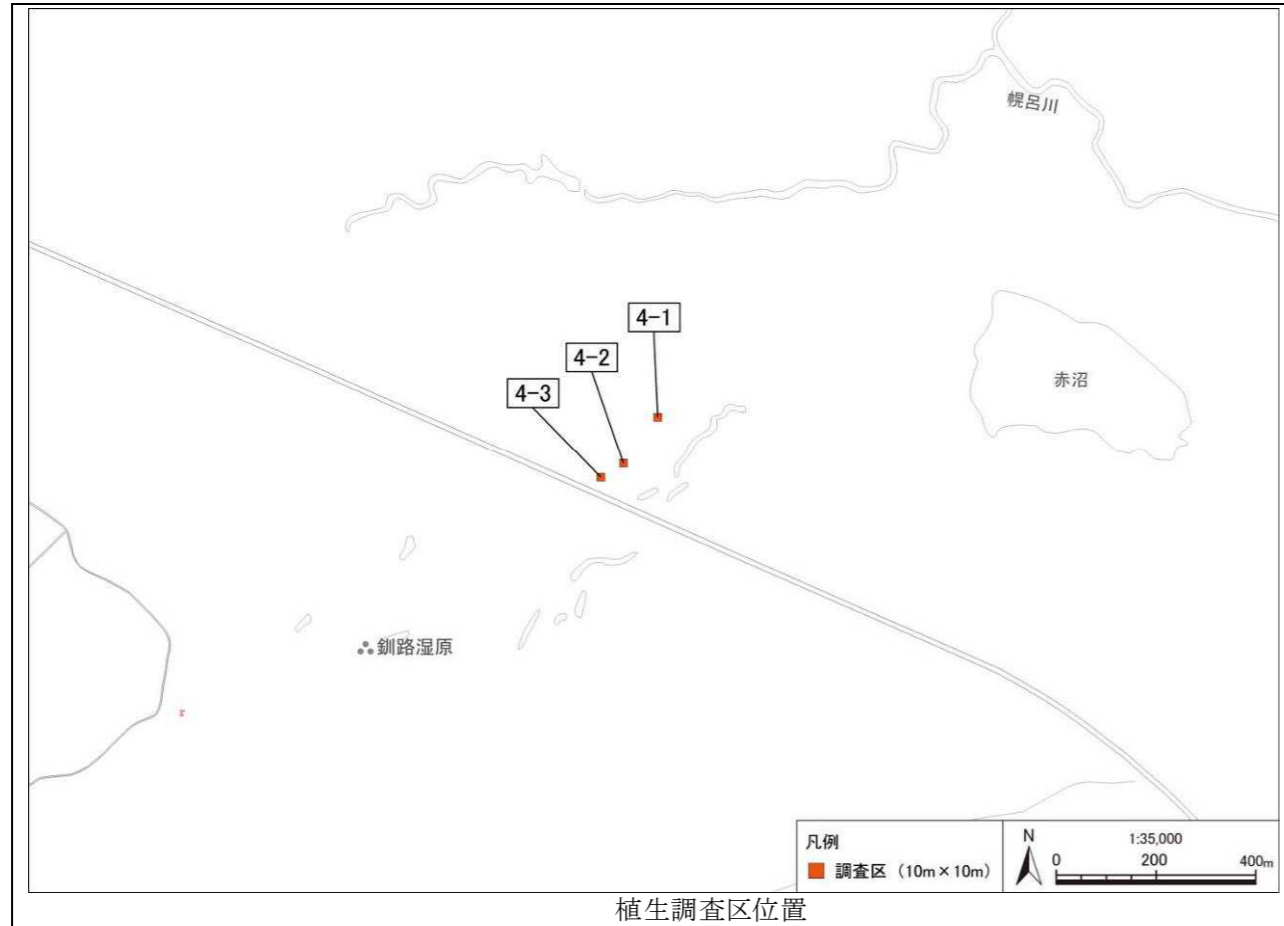
図 0-12 シカ痕跡の分布及び植生図 (3-3)

1-4 赤沼地区

1-4-1 調査区の設定

赤沼地区では、赤沼周辺のチシマガリヤスーホロムイヌゲ群落、チシマガリヤスーヤチツツジ群落、ヨシーイワノガリヤス群落の3箇所植生調査区を設定した。

表 0-16 植生調査区及び詳細調査区位置（赤沼地区）



1-4-2 植生調査

植生調査の結果、赤沼地区では7科12種の重要種が確認された。重要種の確認位置については、図 0-14 から図 0-16に示した。

表 0-17 赤沼地区において確認された重要種及び確認箇所数

No.	科名	種名	赤沼地区			計	重要種選定基準		
			4-1	4-2	4-3		環境省 RL	北海道 RDB	釧路湿原 指定植物
1	ヤマモモ	ヤチヤナギ	9	9	18	36		○	
2	ツツジ	ヒメシャクナゲ	10			10		○	
3		ヤチツツジ		3	6	9	EN		
4		カラフトイソツツジ	14	11	11	36		○	
5		ツルコケモモ	4			4		○	
6	ガンコウラン	ガンコウラン	13	5		18		○	
7	シソ	エゾナミキソウ			9	9	VU		
8	スイカズラ	クロミノウグイスカグラ			2	2		○	
9	キキョウ	サワギキョウ	2			2		○	
10	カヤツリグサ	ムジナスゲ		1	6	7		○	
11		ホロムイヌゲ	6	6	1	13		○	
12		ワタスゲ	1	4		5		○	
計	7科	12種	59	39	53	151	2種	0種	10種

表 0-18 食痕出現頻度（食痕確認面積/100m2）

採食種名	夏期			秋期		
	4-1	4-2	4-3	4-1	4-2	4-3
ヨシ	0.09		0.04			
アキノキリンソウ	0.01	0.02				
チシマガリヤス	0.03					
ヒメシャクナゲ	0.01					
ホロムイヌゲ			0.09			
ヤチツツジ						0.25
カラフトイソツツジ					0.37	
種不明木本			0.18			
種不明草本						
食痕確認面積	0.14	0.02	0.31	0.00	0.37	0.25

重要種

1-4-3 エゾシカ利用状況調査

エゾシカに採食された植物は種であり、そのうち重要種はヒメシャクナゲ、ホロムイヌゲ、ヤチツツジ、カラフトイソツツジの4種であった。

食痕出現頻度は、夏期の4-3（ヨシ-イワノガリヤス群落）において比較的高く、種不明木本が多く採食されていた。秋には4-1及び4-3で減少したが、4-2（チシマガリヤス-ヤチツツジ群落）で増加し、カラフトイソツツジが採食されていた。

1-4-4 植生保護柵の設置

植生保護柵の設置位置は、図 0-14から図 0-16のとおりである。

1-4-5 冬期採食状況調査

赤沼地区では、赤沼西側の高層湿原、幌呂川右岸の低層湿原、赤沼付近にある築堤南側のハンノキ林において踏査ルートを設定し、調査を行った。

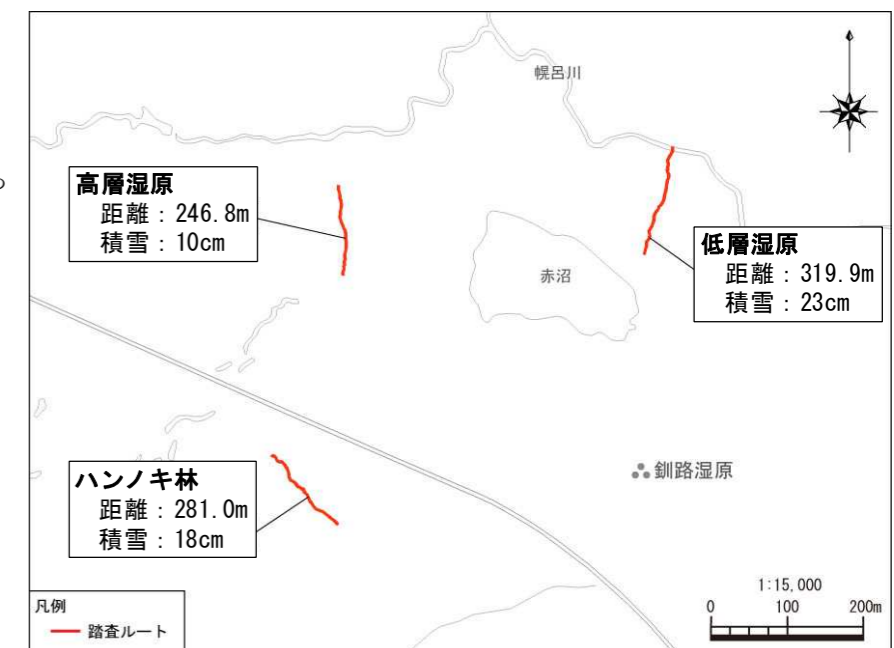


図 0-13 冬期採食状況調査の踏査ルート

1) 採食植物

エゾシカに採食された植物は3種以上で、低層湿原では重要種であるヤチヤナギの食痕が確認され、ハンノキ林では重要種のクロミノウグイスカグラの採食が確認された。高層湿原で1種、低層湿原で3種、ハンノキ林で2種の食痕が見られた。

表 0-19 採食植物及び採食頻度

採食種名	植生		
	高層湿原	低層湿原	ハンノキ林
ヤチヤナギ		0.3	
クロミノウグイスカグラ			1.2
ヨシ		0.6	0.6
種不明木本	0.3	0.3	
計	0.3	1.2	0.8

2) シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

シカ道分岐頻度及び採食頻度は、低層湿原及びハンノキ林で高くなった。踏み荒し及び個体は、本調査地区では目撃されなかった。

表 0-20 シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

植生	シカ道分岐頻度 (分岐回数/100m)	踏み荒し割合 (踏み荒し面積/調査面積:%)	採食頻度 (採食箇所数/100m)	目撃数
高層湿原	0.0	0.0	0.3	0
低層湿原	1.3	0.0	1.2	0
ハンノキ林	2.1	0.0	1.8	0

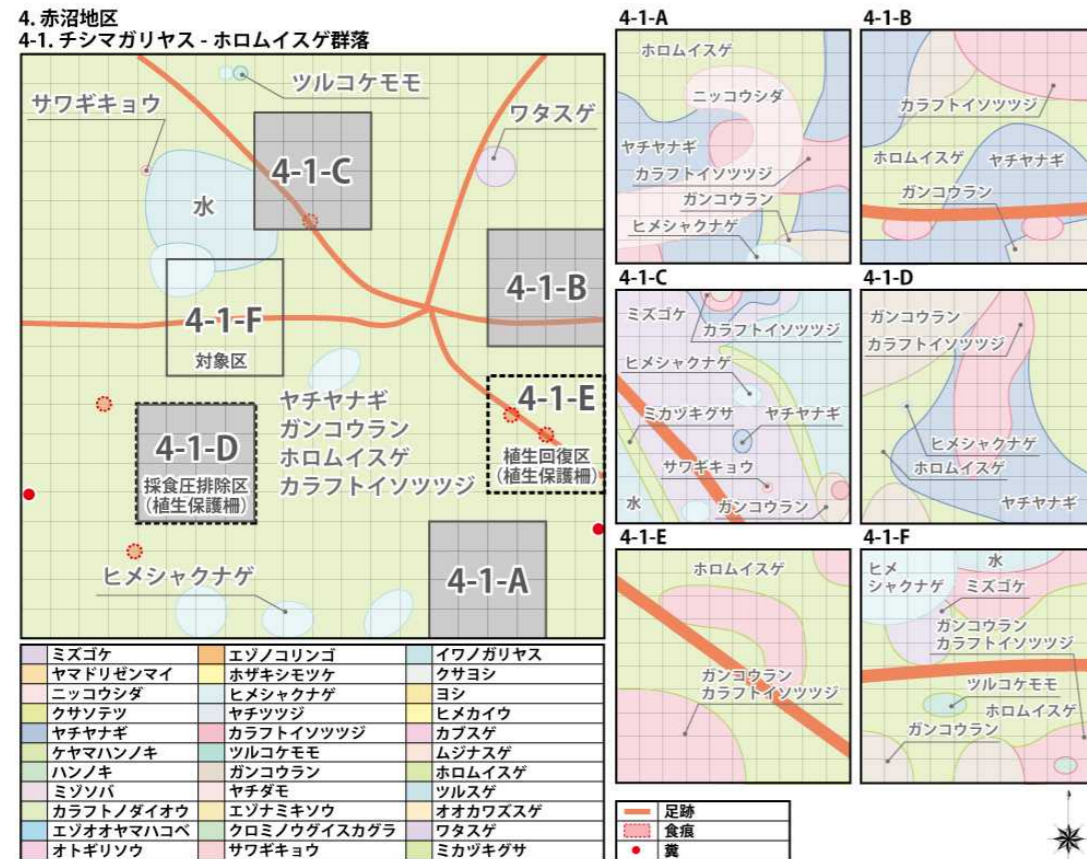


図 0-14 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (4-1)

4. 赤沼地区

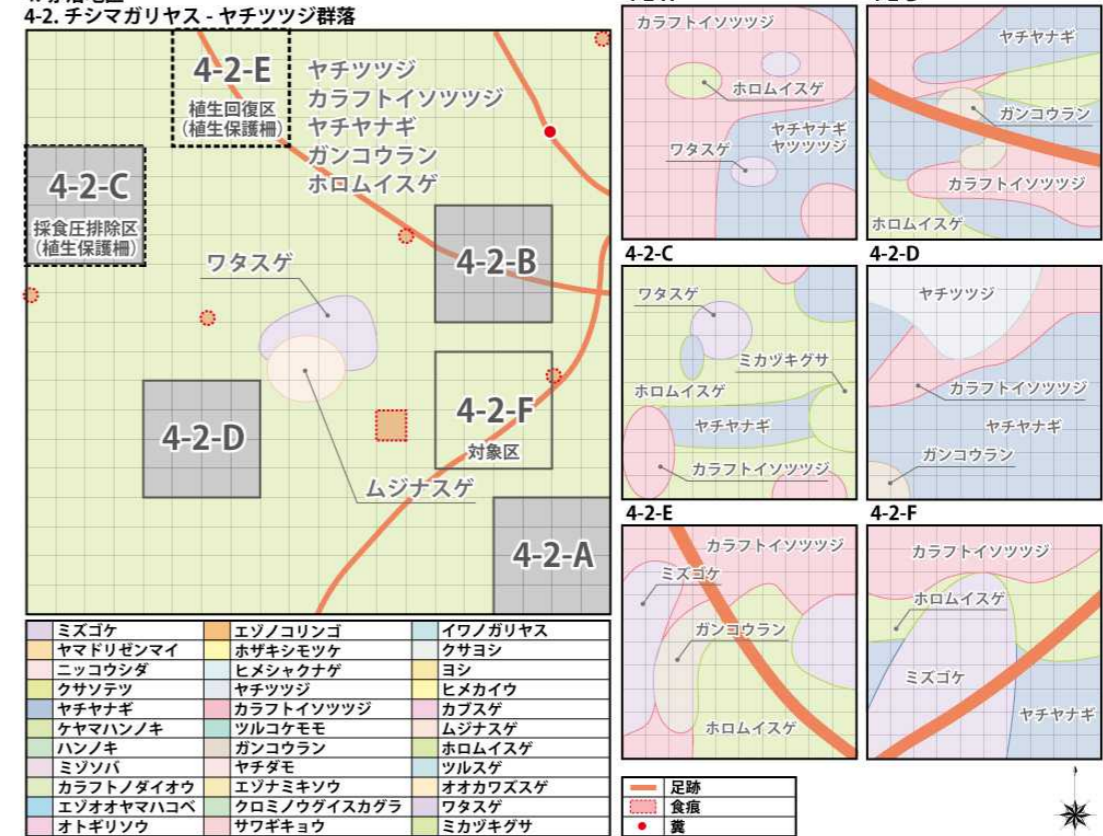


図 0-15 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (4-2)

4. 赤沼地区

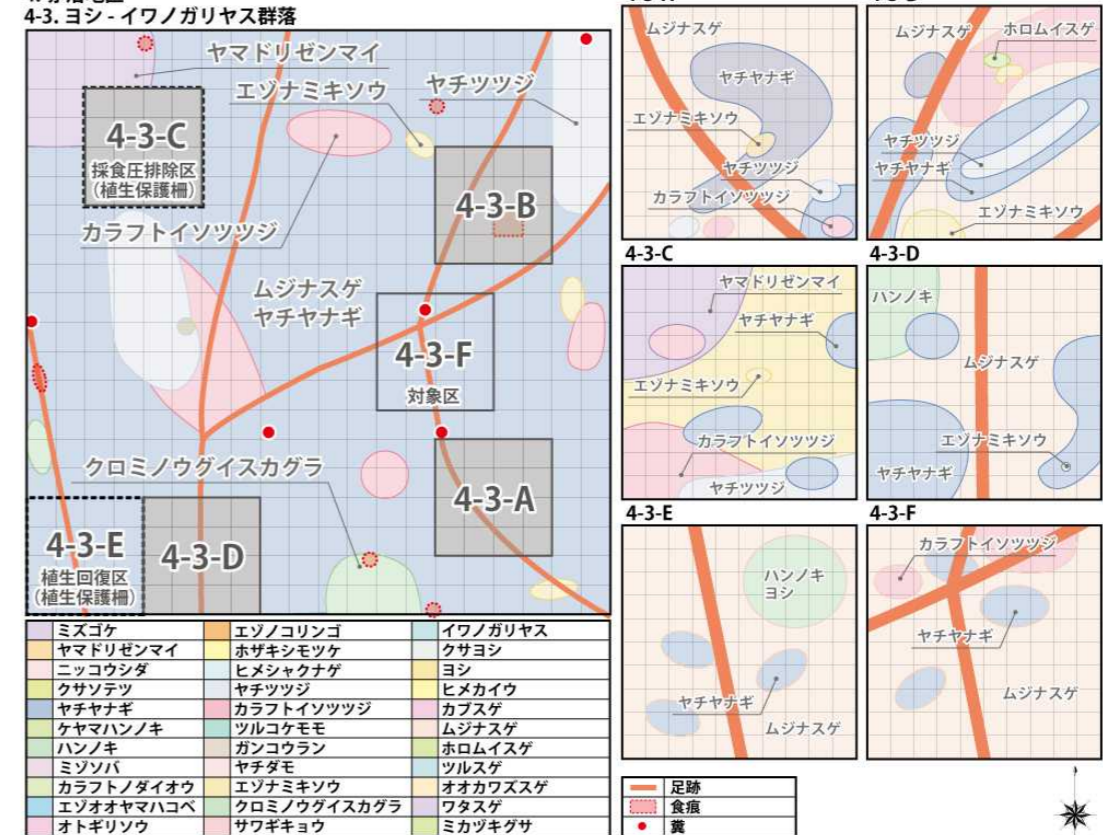


図 0-16 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (4-3)

1-5 大島川地区

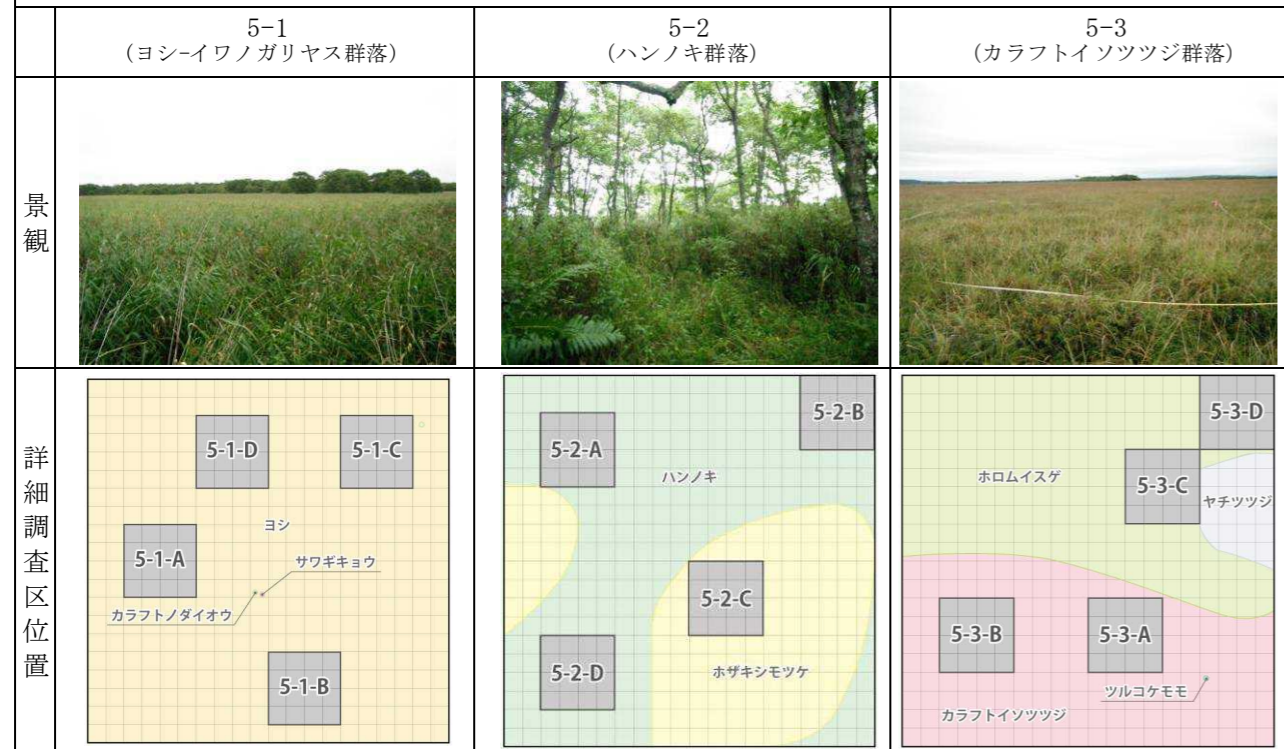
1-5-1 調査区の設定

大島川地区では、温根内木道周辺のヨシ-イワノガリヤス群落、ハンノキ群落、カラフトイソツツジ群落の3箇所に植生調査区を設定した。

表 0-21 植生調査区及び詳細調査区位置（赤沼地区）



植生調査区位置



1-5-2 植生調査

植生調査の結果、赤沼地区では6科8種の重要種が確認された。重要種の確認位置については、図 0-18から図 0-20に示した。

表 0-22 大島川地区において確認された重要種及び確認箇所数

No.	科名	種名	赤沼地区			計	重要種選定基準		
			5-1	5-2	5-3		環境省 RL	北海道 RDB	釧路湿原 指定植物
1	ヤマモモ	ヤチヤナギ			14	14			○
2	タデ	カラフトノダイオウ	2			2	VU	R	
3	バラ	ホザキシモツケ		8		8			○
4	ツツジ	ヤチツツジ			4	4	EN		
5		カラフトイソツツジ			8	8			○
6		ツルコケモモ			1	1			○
7	キキョウ	サワギキョウ	2			2			○
8	カヤツリグサ	ホロムイソツツジ			2	2			○
計	6科	8種	4	8	29	41	2種	1種	6種

1-5-3 エゾシカ利用状況調査

エゾシカに採食された植物は4種であり、そのうち重要種はホザキシモツケの1種であった。

食痕出現頻度は、夏期の5-1（ヨシ-イワノガリヤス群落）及び5-2（カラフトイソツツジ群落）において比較的高く、ミゾソバが主に採食されていた。秋にはホザキシモツケの採食により、5-2のみで食痕が確認された。

表 0-23 食痕出現頻度（食痕確認面積/100m²）

採食種名	夏期			秋期		
	5-1	5-2	5-3	5-1	5-2	5-3
ヨシ		1.00				
ホザキシモツケ					1.25	
ミゾソバ	2.50	4.75				
ドクゼリ	0.25					
種不明草本			0.01			
食痕確認面積	2.75	5.74	0.01	0.00	1.25	0.00

重要種

1-5-4 植生保護柵の設置

植生保護柵の設置位置は、図 0-18から図 0-20のとおりである。

1-5-5 冬期採食状況調査

大島川地区では、温根内木道南東側の高層湿原及びハンノキ林、温根内ビジターセンター南側の丘陵地において踏査ルートを設定し、調査を行った。

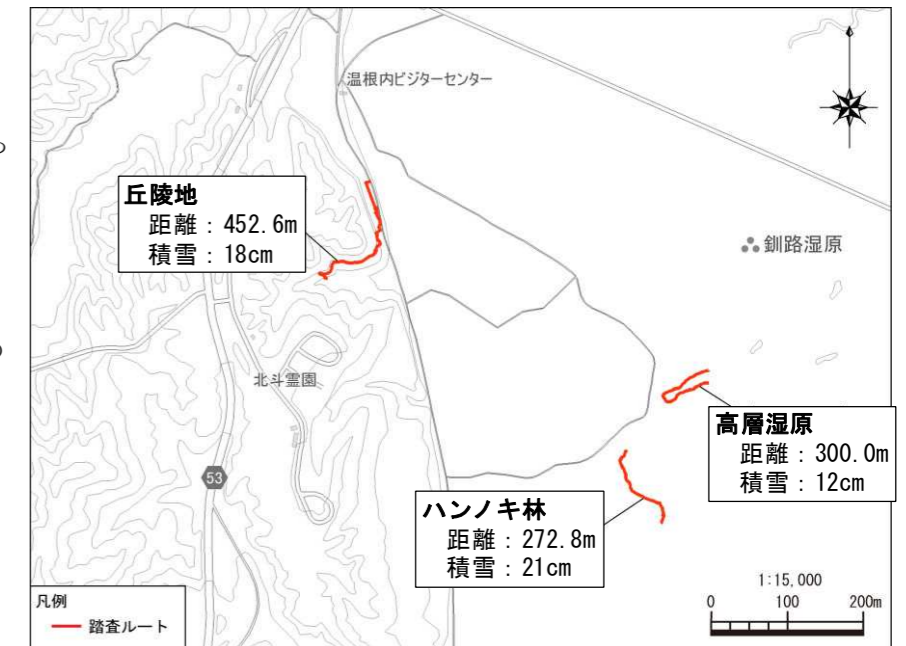


図 0-17 冬期採食状況調査の踏査ルート

表 0-24 採食植物及び採食頻度

採食種名	植生		
	高層湿原	ハンノキ林	丘陵地
シダ sp.		0.3	0.3
ヨシ		0.6	
イネ科		0.3	
オオクマザサ			1.5
スゲ類	1.8		
種不明木本			0.3
種不明草本			0.6
計	1.8	0.9	2.7

1) 採食植物

エゾシカに採食された植物は2種以上だった。
高層湿原ではスゲ類のみを採食し、ハンノキ林で3種、丘陵地では4種を広く採食していた。

2) シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

シカ道分岐頻度及び採食頻度は植生間で同程度だった。踏み荒し及び個体は、高層湿原のみで確認された。

表 0-25 シカ道分岐頻度・踏み荒し割合・採食頻度・目撃数

植生	シカ道分岐頻度 (分岐回数/100m)	踏み荒し割合 (踏み荒し面積/調査面積:%)	採食頻度 (採食箇所数/100m)	目撃数
高層湿原	1.7	4.4	1.8	0
低層湿原	2.2	8.7	2.7	0
ハンノキ林	0.9	0.0	0.9	0

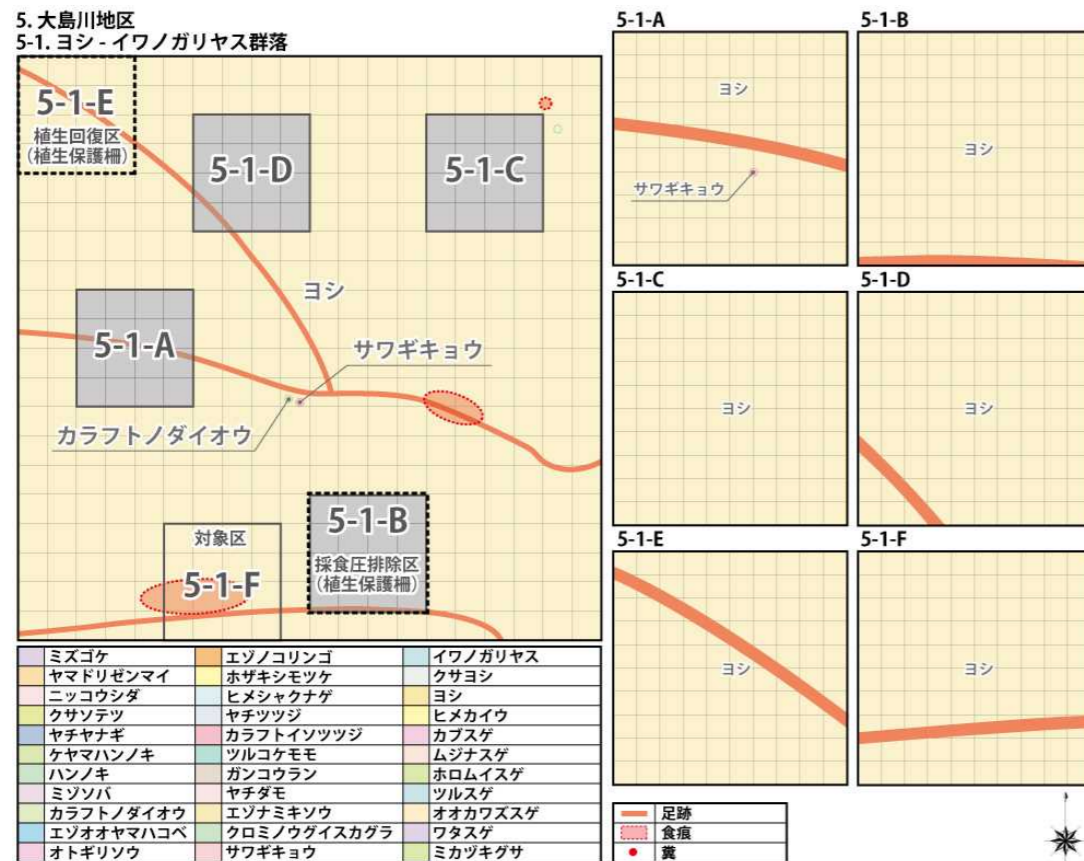


図 0-18 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (5-1)

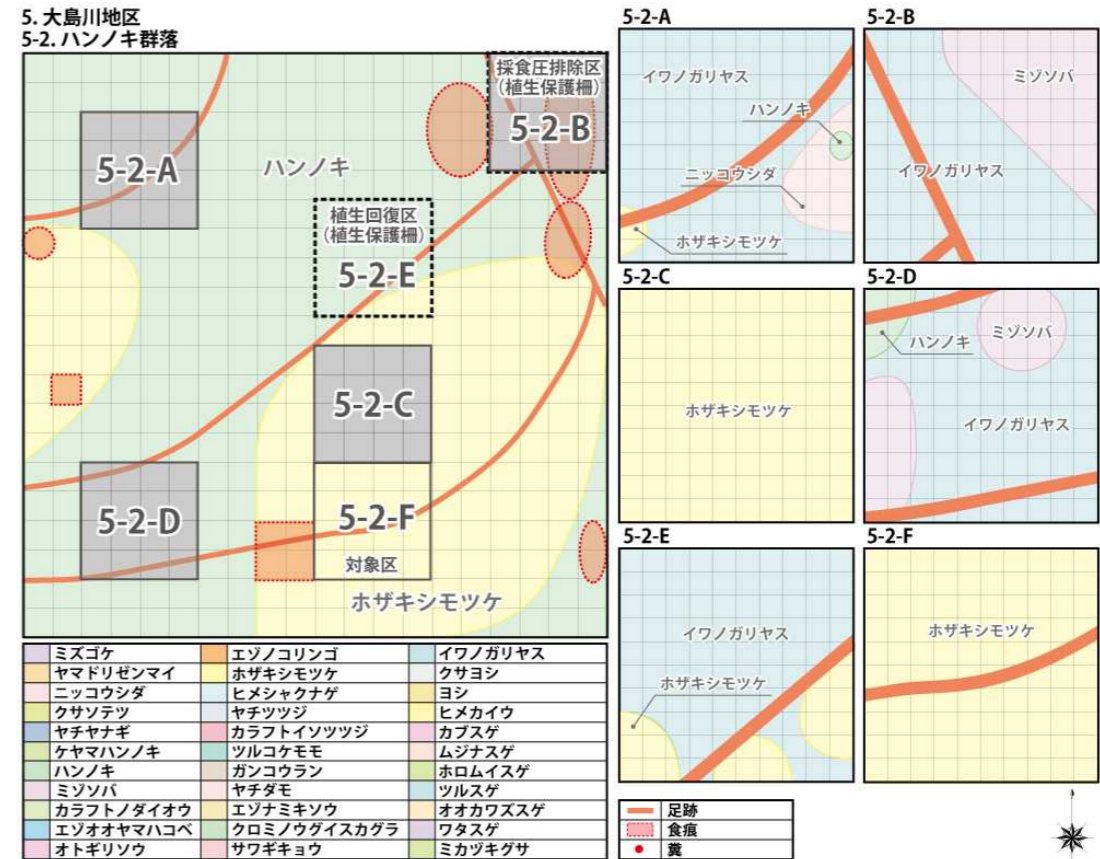


図 0-19 各調査区画位置、シカ痕跡の分布、及び植生図 (5-2)

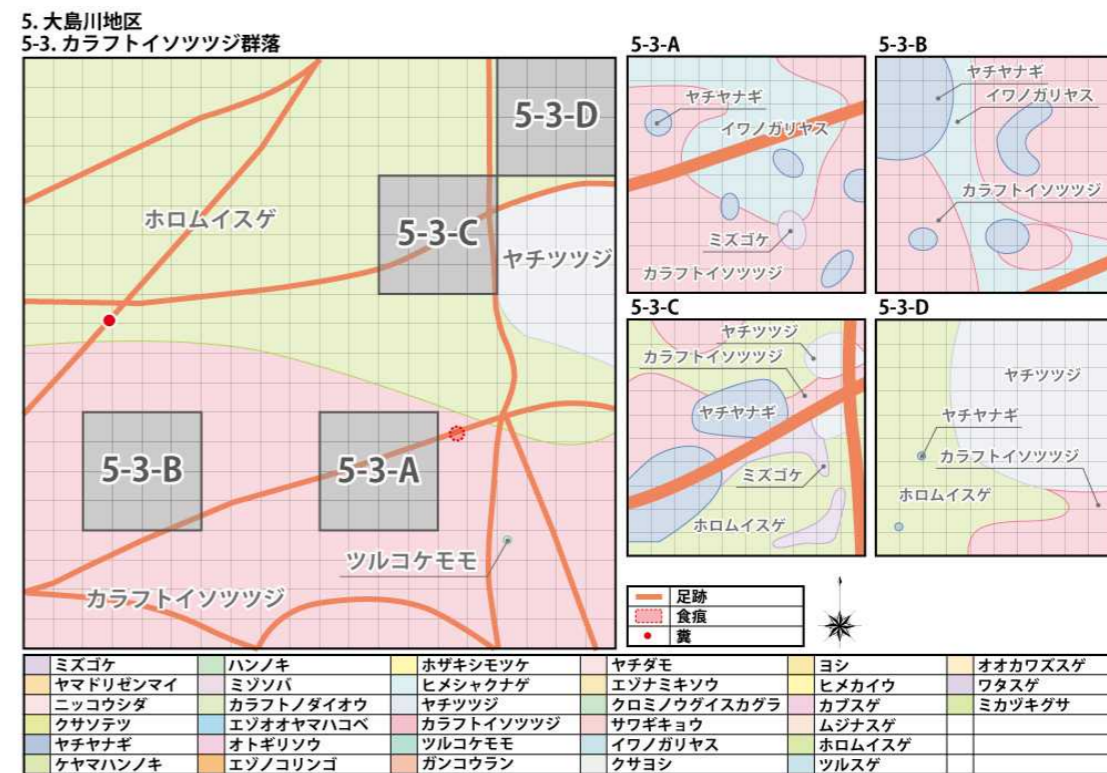


図 0-20 シカ痕跡の分布及び植生図 (5-3)